

2020年度九州センター低層棟屋上防水工事（設計・施工業務）

（公告/公示日：2020年3月17日）について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
九州センター所長

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	入札説明書 P2	利益相反	(2)の5) 調査業務等の受託者とありますが、受託者の記載が不明です。ご教示ください。	受託者については公表されていないことから、当機構にて当該資格要件への該当有無を確認します。
2	業務仕様書 P4	8. 管理技術者の配置と資格	8. 管理技術者（設計業務責任者）は、協力会社の設計事務所の有資格者でよいですか。	受注者（元請会社）との契約に関する記載となりますので、協力会社（下請け）での配置は認められません。仕様書に記載の資格要件は元請会社に求められる資格となります。
3	同上	6. 貸与品	設計図作成に当たり、既存建物等のCADデータはありますか。又利用できますか。	配置図、建築平面図、立面図のCAD (DWG) データを貸与可能です。
4	工事概略図	工事概要①	立上りは、アルミ笠木及び水切り下部までの施工でしょうか。それともアルミ笠木一時撤去後、天端までの施工でしょうか。	現状同等以上の防水性能を担保できる仕様及び改修範囲を設計業務において決定して下さい。
5	同上	同上	立上りは密着工法でよろしいでしょうか。	同上
6	同上	同上	新規アスファルト防水は、改質アスファルト防水でもよろしいでしょうか。	同上
7	同上	同上	新規アスファルト防水は、断熱絶縁工法でしょうか。	同上
8	同上	同上	防水押え金物上部シーリング新設は、変成シリコン (MS-2) でしょうか。	同上
9	同上	同上	中庭側の落下防止対策は、スタンションでよろしいでしょうか。	安全対策は受注者の責任において、計画実行されるものですので、必要な仮設を検討し決定して下さい。
10	同上	同上	墜落防止対策（最上部安全手摺 枠組本足場用3ヶ月）283mとありますが、仮設工事図落下防止対策の平面の線の長さを測ると、170m～180m前後と考えられ、枠組本足場をどのように設置計画とした場合の数字なのか不明です。ご教示ください。	別冊2「参考数量表」記載の細目及び数量は、あくまでも参考であるため、適宜変更頂いて差し支えありません。必要な項目及び数量を検討下さい。

通番	該当頁	項目	質問	回答
11	同上	—	養生低層棟廻り（外部）、清掃・片付け（施工中）低層棟廻り（外部）養生部分、竣工時清掃低層棟廻り（外部） 各項目の283㎡の数字は、何をどのように積算したのか数字の根拠が不明です。ご教示ください。	通番10による。
12	同上	—	共通仮設費（積上げ分）の仮設資材置場 3.6×1.2×1.8とありますが、W3.6 D1.2 H1.8の解釈でよいですか。又柵の材質が不明です。	通番10による。
13	同上	—	アルミ製笠木修繕工事 307mとありますが、幅の記載がありません。ご教示ください。	竣工図に記載の笠木幅は250mmです。
14	参考数量表	—	下見積書は、自社様式でもよいですか。	問題ありません。

2020年3月24日開催の説明会上での質問と回答

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	その他	現場管理	現場事務所設置にあたり、電気の引込について	電気は、工事請負者が九州電力と契約して引き込み、その費用は工事請負者の負担とします。
2	同上	同上	仮設トイレ等の上水について	上水は、直近の散水栓にメーターを設置して引き込み、汚水/雑排水及び下水道は直近の汚水ますに放流となります。メーター値に基づき、工事請負者は工事完了後に水道料及び下水道使用料を発注者に対して精算する形となります。 なお、当センター内のトイレの貸出については、施設利用状況に応じて別途協議とします。
3	同上	同上	工事に必要な電気及び水道の使用について	工具の充電や清掃等、軽微な電気・水道使用については利用可とする。ただし施設に影響を与えないよう、電力負荷を確認すること。
4	同上	同上	資材置場について	テニスコートの使用が可能。ただし、コート面の養生が必要です。テニスコート以外の置場については、別途協議とします。
5	同上	同上	土日の工事は可能か	平日の日中作業を想定していますが、土日の工事も可能です。ただし、土日祝に作業を行う場合は事前に別途協議とします。

通番	該当頁	項目	質問	回答
6	同上	同上	工事内訳書の様式について、入札説明書別冊2「参考数量表」記載の細目を変更しても良いか	別冊2「参考数量表」記載の細目及び数量は、あくまでも参考であるため、適宜変更頂いて差し支えありません。
7	同上	同上	工法、仮設、仕様について	受注者の提案の範囲となりますが、仕様については現況同等以上とすること
8	業務仕様書 P3	5.2 (1)	工事中の騒音の制限について	施設利用状況に応じて別途協議とします。